

* 太陽光カルシウム K ライン分光器カメラ部発見

国立天文台になって早 20 年、東京天文台時代、現在、東京大学理学部天文学教育研究センターが立っている辺りに太陽の観測装置群、ブラッシャー天体写真儀ドーム、ベーカーナンシュミットカメラ観測棟などがありました。太陽グループの観測装置として、太陽 H α 単色写真儀 (モノクロ)、太陽分光写真儀室 (おぼけ)、3 号館などがありました。この 3 号館には皇太子と呼ばれた人もいました。

「おぼけ」ではサイデロスタットから太陽光を導き、カルシウム K ライン分光器で観測が行われていました。そのサイデロスタットは昨年、歴史館に展示しました。そしてカルシウム K ライン分光器はつい先日、PMC に展示しました。この分光器にはカメラ部分があったのですが、大赤道儀室の元暗室倉庫から忽然と消えたと入江さんが捜していました。昨日 5 月 28 日、小池さんが「私の所にもレンズ類が少しある」というので見せてもらったところ、なんと入江さんが捜していたカルシウム K ライン分光器のカメラ部分があるではありませんか。「灯台もと暗し」です。以前、入江さんの所にレプソルド子午儀の対物レンズが保管されていることが分かり、今回は小池さんの所に入江さんが捜していたカメラ部分がありました。

写真 1 がサイデロスタット、CaK ライン分光器、カメラ部と一緒に写った写真です。



写真 1

サイドロスタット、CaK 分光器、カメラ部全体の光路図が図 1 です。

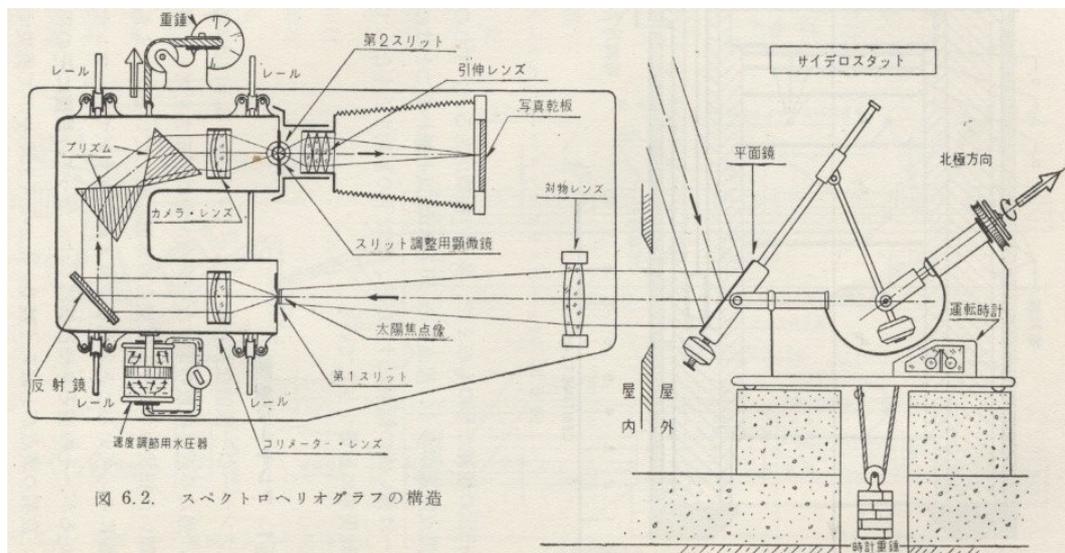


図 1

今回、大部屋の小池さんの管理下にあったカメラ部が写真 2 です。

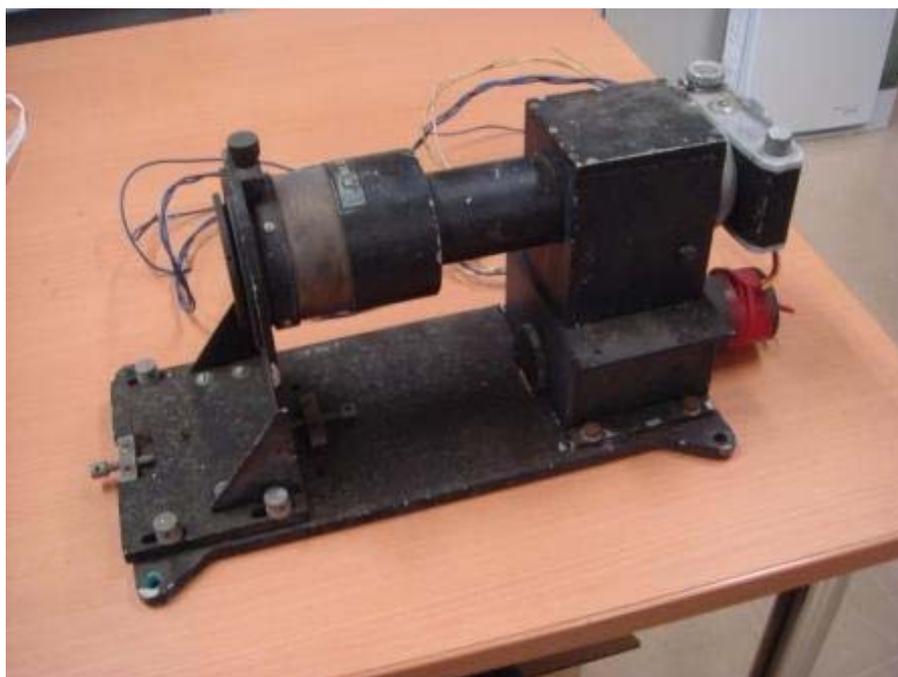


写真 2

「おぼけ」はなくなりましたが、このようにその建物で観測に使われていたサイドロスタット、分光器、カメラの1式がそろったことになりました。

なんども登場しますが、「おぼけ」の写真3、「おぼけ」で観測されていた状態の写真4を掲載しておきます。



写真 3

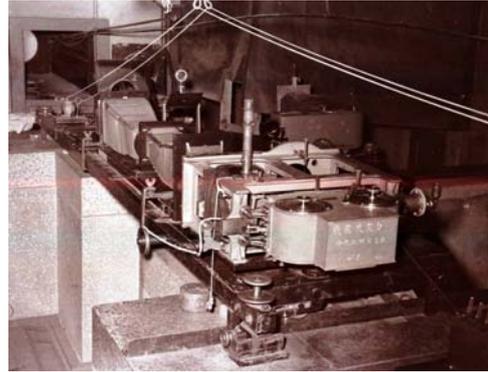


写真 4

紙面に余裕がありますので、歴史館に展示されているサイデロスタットの写真5も掲載しておきます。



写真 5